

60 Years of Progress

1962(昭和37)年4月1日、町制施行にともない、大口村から大口町となりました。それから60年の月日が流れ、今この瞬間も歴史が積み重ねられています。

工場誘致

民成紡績株式会社 1966(昭和41)年ごろ

大口村最後の村長であり、大口町初代町長であった社本鋭郎氏は、大口村時代の1955(昭和30)年に「大口村工場設置並びに拡張に関する固定資産税減免並びに奨励条例」を制定し、本格的な工場誘致に乗り出します。誘致第1号は1956(昭和31)年の民成紡績株式会社(現トヨタ紡織株式会社)でした。町制施行後は「大口町工場誘致条例」を掲げて数々の工場が誘致され、「大口町工場誘致条例」を廃止した1966(昭和41)年までに24社が大口町内で操業をはじめました。

1962
1971

1962

4月1日町制施行

- 戦後初の国産旅客機「YS-11」初飛行

1963

大口町工場誘致条例制定

- アニメ「鉄腕アトム」放送開始
- NHK大河ドラマ「花の生涯」スタート
- 伊藤博文肖像千円札発行

1964

大口中学校プール完成

- 東海道新幹線開業
- 東京オリンピック開催

1965

大口町土地改良区設立

- 「墓場の鬼太郎」(後の「ゲゲゲの〜」)連載開始
- プロ野球第1回ドラフト会議



町制施行式(役場庁舎にて)



大口南小学校
名古屋市立白鳥小学校第1回交歓会
(大口南小学校にて)

1966

大口北小学校鉄筋校舎竣工

大口町工場誘致条例廃止

大口南小学校・名古屋市立白鳥小学校

姉妹校交歓会はじまる

町制5周年・大口創立60周年

記念式典挙行

- ザ・ビートルズ来日

1969

ごみ焼却施設が河北地内に竣工
国道41号(名濃バイパス)開通

- アポロ11号月面着陸
- 「水戸黄門」放送開始

1970

総合グラウンド(現野球グラウンド)竣工

- 日本万国博覧会(大阪)開催
- ジャポニカ学習帳発売

1971

「仮面ライダー」放送開始

- マクドナルド国内1号店オープン

大口西小学校開校



1907(明治40)年、当時の大口村に大口第一尋常高等小学校(現大口南小学校)と大口第二尋常高等小学校(現大口北小学校)が開校して以降、小学校は2校のみでしたが、1976(昭和51)年に大口西小学校が開校しました。開校後1年ほど過ぎた1977(昭和52)年3月、創立を記念して児童の1年間の歩みや校区の姿、児童の作品など5,000点を収納したタイムカプセルを埋設しました。このタイムカプセルは25年後の2001(平成13)年に開封されました。

1972
1981



大口町役場新庁舎



学校給食センター

1972

町制10周年
学校給食センター竣工
町章制定
新庁舎竣工

- 第11回冬季オリンピック札幌大会開催
- 沖縄の本土復帰

1973

- オイルショック

1974

県立丹羽高等学校開校
第2次大口町総合計画策定

- 小野田寛郎元少尉生還
- セブンイレブン1号店オープン

1975

丹羽消防組合発足

- 「キャンディ・キャンディ」連載開始
アニメは翌年放送開始
- 沖縄国際海洋博覧会開催

1976

大口西小学校開校
大口北保育所竣工

- ロッキード事件
- ピンクレディーデビュー

1977

社本鋭郎氏名誉町民第1号に

- 気象衛星「ひまわり」打ち上げ
- 王貞治ホームラン世界記録達成(756本)

1978

- キャンディーズ解散
(後楽園球場で解散コンサート)
- 新東京国際空港(成田空港)開港
- 「未知との遭遇」「スターウォーズ」公開

1979

総合福祉会館(中央公民館、図書館、老人福祉センター)竣工
第3次大口町総合計画策定
尾北自然遊歩道完成

- 「機動戦士ガンダム」放送開始
- ウォークマン(ソニー)発売

1980

- 「Dr. スランプ」(鳥山明)連載開始
- モスクワオリンピック開催
- ゲーム&ウォッチ(任天堂)発売

1981

- 「北の国から」放送開始

60 Years of Progress

公共施設の建設



大口町総合運動場(現オークマグラウンド)

町制施行10周年以降、町内各所で公共施設の建設が進みました。1972(昭和47)年の大口町役場庁舎と学校給食センターからはじまり、大口町総合福祉会館(1979(昭和54)年)、大口町温水プール※現オークマ温水プール(1982(昭和57)年)、野外活動施設(1983(昭和58)年)、大口北部中学校(1985(昭和60)年)、大口町総合運動場※現オークマグラウンド(1990(平成2)年)などを建設しました。地域に身近な施設としては、1980(昭和55)年から学習等共同利用施設(学習等供用施設)が各地区に順次できていきました。

1982
1991

1982

- 町制20周年
- 町民憲章制定
- 町の木「もくせい」・町の花「さくら」制定
- 温水プール竣工
- 500円硬貨発行
- 東北新幹線・上越新幹線営業運転開始

1983

- 野外活動施設(白山ふれあいの森)竣工
- 保健センター竣工、診療所廃止
- 東京ディズニーランド開園
- ファミリーコンピュータ(任天堂)発売

1984

- 第4次大口町総合計画策定
- グリコ・森永事件
- ロサンゼルスオリンピック開催

1985

- 大口北部中学校開校
- 国際科学技術博覧会「科学万博つくば'85」開催
- 日航ジャンボ機墜落事故

1986

- 昭和天皇在位60年記念式典開催
- 写ルンです(富士フィルム)発売

1987

- 大口町社会福祉協議会発足
- 国鉄分割民営化
- 大韓航空機爆破事件

1988

- 江南警察署 大口派出所開設
- リクルート事件
- ソウルオリンピック開催

1989

- 昭和天皇崩御、新元号は「平成」
- 消費税(3%)導入
- ゲームボーイ(任天堂)発売

1990

- 総合運動場(現オークマグラウンド)竣工
- 心身障害者小規模授産所開設
- 町民会館・商工会館竣工
- 「ちびまる子ちゃん」放送開始
- 国際花と緑の博覧会(大阪)開幕

1991

- 雲仙普賢岳大規模火砕流発生
- ソ連解体



豊田学習等共同利用施設



大口町温水プール(現オークマ温水プール)



60 Years of Progress
わかしゃち国体

1994(平成6)年に開催された第49回国民体育大会(わかしゃち国体)において、大口町は扶桑町と合同でソフトボール競技成年男子2部の会場となりました。開催にあたっては、大口町体育協会と大口町ソフトボール協会が中心となり、企画調整から実行まで進めました。しかし、町内には宿泊施設がないため、地域にある5つの学習等共同利用施設や総合福祉会館の入浴施設を活用し、その運営は地域のみなさんが担いました。

1992
2001



健康文化センター
(ほほえみプラザ)



堀尾跡公園



小口城址公園

1992

町制30周年
リフレッシュリゾート助成事業開始
防災行政無線開局
大口町イメージソング
大口町イメージソング
「ほほえみを花束(ブーケ)にして」発表

1993

- Jリーグ開幕
- 皇太子徳仁親王結婚の儀

1994

第49回国民体育大会(わかしゃち国体)開催
わかしゃち国体記念運動公園完成
● プレイステーション(ソニー)発売

1995

特別養護老人ホーム(御桜乃里)誘致
第5次大口町総合計画策定
● 阪神淡路大震災
● 地下鉄サリン事件
● Windows95 発売

1996

堀尾跡公園竣工
ふれあいまつり始まる
● アトランタオリンピック開催

1997

文化財収蔵庫竣工
● 消費税5%に引き上げ
● 秋田新幹線・長野新幹線開業

1998

丹羽消防署大口出張所開設
健康文化センター竣工
河北グラウンド竣工
● 冬季オリンピック長野大会開催
● 和歌山カレー毒物事件

1999

小口城址公園竣工
大口西児童センター竣工

2000

NPO 活動促進条例制定
大口西小学校ビオトープ竣工
● 2千円札発行
● イチロー MLBシアトルマリナーズ入団

2001

大口南児童センター竣工
● ユニバーサルスタジオジャパン・東京ディズニーシー開園

地域自治を考える

まちづくりを考える会」提案書を踏まえて～

主催 大口町/まちづくりを考える会



60 Years of Progress

まちづくり基本条例

大口町の「協働のまちづくり」は、2000(平成12)年の大口町情報公開条例と大口町NPO活動促進条例からはじまりました。そして町制40周年記念事業を行政と住民が手を携えて盛り上げたことを契機に活動団体が増えていき、やろ舞い大祭など現在でも続くイベントが誕生します。2006(平成18)年に策定した第6次大口町総合計画では、基本理念に「みんなで進める自立と共助のまちづくり」を掲げ、2009(平成21)年、大口町まちづくり基本条例を制定しました。この条例により、大口町に関わる全ての人・団体・事業所などがまちづくりの担い手として、住民福祉の向上とまちの発展を目指すことを明確に位置づけ、その後の地域自治組織設立へとつながりました。

2002
2011



大口中学校



愛・地球博 おおぐちDAY

2002

- 町制40周年
- 第1回やろ舞い大祭開催
- 第1回伝統芸能発表会開催
- 大口町サイバータウンプラン策定
- サッカーワールドカップ日韓大会開催

2003

- 巡回バス運行開始
- 生ごみ堆肥化デモプロジェクト開始
- 地上デジタル放送開始

2004

- 健康づくり計画「健康おおぐち21」策定
- 大口北児童センター竣工
- おおぐち元気戦隊ダッシュマン誕生

2005

- 愛知万博フレンドシップ事業
- コミュニティー・ワークセンター竣工
- 愛知万博(愛・地球博)開催

2006

- 国府宮裸祭大鏡餅奉納
- 第6次大口町総合計画策定
- 大口誕生100周年記念式典
- 地域包括支援センター設置

2007

- 資源リサイクルセンター竣工
- 地域再生計画認定
- (Oh-ITOWN おおぐち構想)

2008

- 大口中学校新校舎竣工
- 愛知県植樹祭大口中学校で開催

2009

- まちづくり基本条例施行
- 裁判員制度開始

2010

- 大口北小学校新校舎に移転

2011

- 「新しい地域自治組織による協働のまちづくり」提言
- 東日本大震災

60 Years of Progress

国道41号6車線化

国道41号は、名古屋市から富山県富山市を結ぶ中部圏における交通の大動脈の一つですが、そのうち名古屋市から大口町を通り、岐阜県美濃加茂市までの間を名濃バイパスと呼んでいます。名濃バイパスは1969(昭和44)年に完成しましたが、当時の大口町内を通る区間は2車線でした。1978(昭和53)年に4車線となりましたが、生活及び経済活動の伸展により朝夕の渋滞が慢性化しました。そこで2017(平成29)年より6車線化の工事が始まり、利便性が大いに向上しました。

2012
2021



地域自治組織設立総会



大口北保育園



多世代が集う憩い広場

2012

町制50周年

宮城県南三陸町に職員長期派遣
大口南小学校新校舎竣工

- 東京スカイツリー開業
- ロンドンオリンピック開催

2013

町内3地域で
地域自治組織設立

2014

町立中保育園民営化
生きがい活動支援センター竣工
さつきヶ丘防災センター竣工

- 消費税8%に引き上げ

2015

松江市姉妹都市盟約の締結
第7次大口町総合計画策定

2016

松江市災害時相互応援協定締結

- リオデジャネイロオリンピック開催
- SMAP 解散

2017

国道41号6車線化工事着手

- レゴランド開業
- 藤井聡太棋士29連勝達成

2018

- ワールドカップロシア大会開催
- 安室奈美恵引退

2019

多世代が集う憩い広場竣工
国道155号4車線化工事着手

- 新年号「令和」に改元
- 消費税10%に引き上げ
- ラグビーワールドカップ日本大会開催

2020

「おおぐち観鋭桜」植樹を開始
大口町子育て世代包括支援センター開設

- 新型コロナ感染拡大で
非常事態宣言、全国一斉休校
- 「鬼滅の刃無限列車編」公開
日本歴代興行収入第1位達成

2021

- 東京オリンピック1年延期で開催
史上最多のメダル58個獲得
- 新型コロナウイルスのワクチン接種開始

Back To The 60'

写真で見る 大口町いま・むかし

大口町となって60年。
その間にまちの景色は大きく変貌しました。“あの頃”と“今”、変わったところ、変わっていないところ…皆さんが普段見る風景はどうですか？
まちの風景の「いま」と「むかし」をご覧ください。比べてみてください。



- 1** 上小口商店街前に停車する名鉄バス 1966(昭和41)年頃
当時、上小口商店街は民成紡績(株)(現トヨタ紡織(株))の操業により活気がありました。写真には商店が立ち並び、道路右手には民成紡績(株)の塀が続いています。



- 4** 大口町立南保育園 1982(昭和57)年頃
南保育園は、1950(昭和25)年に設置された時、大口南小学校の敷地内にありました。その後、写真にある小学校の西側、現在は小学校の駐車場がある場所へ移転します。そして1983(昭和58)年、現在の保育園がある場所に移転しました。



- 5** 大口町農業協同組合 1962(昭和37)年
現在のJA愛知北大口支店は、町制施行当時も同じ場所にありました。写真奥には当時の大口町役場の建物も写っています。道路向かいにあたる写真左側の生垣は、大口中学校の敷地です。



現在

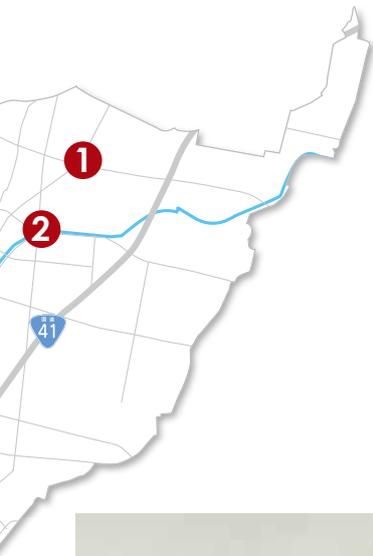


現在



2 六部橋付近の五条川桜並木 1962(昭和37)年

五条川の桜並木は植樹後約10年が過ぎ、立派な花を咲かせています。五条川の奥には六部橋が見え、左端には大口北小学校の木造校舎が垣間見えます。写真右側には、当時の北保育所園舎があります。



現在



3 同興紡績株式会社を南から見る 1962(昭和37)年

現在のMEGAドン・キホーテ UNY大口店は、当時、同興紡績(株)がありました。その手前には五条川が流れていますが、桜がまだ遠目から目立つほど成長していません。道路も未舗装です。

現在



6 大口神社 1962(昭和37)年

1952(昭和27)年に建立された大口神社は、西南戦争からアジア・太平洋戦争までの戦没者を祀っていました。2008(平成20)年に新生大口中学校が誕生した際、標柱だけそのまま残し、御霊は大口交番の北側にある平和記念公園内に納められました。

役場周辺いま・むかし

1962
(昭和37)年
ごろ



大口町農業協同組合

1962
(昭和37)年
ごろ



大口神社

1962
(昭和37)年
ごろ



大口中学校



JA 愛知北農協大口支店

現在



大口中学校

現在



1962
(昭和37)年
ごろ



大口町公民館

1962
(昭和37)年
ごろ



大口町役場



町民会館

現在

大口町史

～現代史編～

『大口町史～現代史編～』は、1945(昭和20)年から現在に至るまでの町の歴史に加え、住民の皆さんからお寄せいただいた当時の想いを盛り込むことにより、「記録」と「記憶」を後世に伝え、将来のまちづくりに活かしていくことを目的に、現在編さん事業を進めています。

町史掲載予定のコラムを一部紹介

農繁休暇

あの頃は、百姓というのは非常に手間がかかり、小学生といえども、大事な働き手ということで、手伝わってもらわないかんで、休みがありました。

調べてみますと、昭和32年には6月11日から3日間、7月にも3日間、それから、11月にも4日間の農繁休暇。今、こんなに学校を休んだら、指導要領どおりやれるのかと思うくらいですが、昔はそういうのはどうだったのかなあ。

多分、6月は麦の収穫、7月は田植え、11月は稲刈りのためです。もっと前は、養蚕休みもあったそうですが、私らが入学した頃にはありませんでした。中学校にも、もちろん農繁休暇がありました。

小学校低学年ですと、なかなか田植えも難しいので、子守をしたり家の留守番をしたりして頑張っていました。

私の住む集落では、圃場整備される前ですので、ちっちゃな田んぼの田植えを共同でやりました。集会場に炊事場をつくって、昼と夜、料理をつくる人、田植えをする人、それから子守をする人。主婦連というか婦人会というのが割と活発でした。

大口町史～現代史編～

- 【目次】 第1編 自然
第2編 政治・経済
第3編 暮らしと文化
第4編 地域の変化

各章節内には、当時の想いをつづった「コラム」を掲載!! 12月末刊行予定です! 刊行までもうしばらくお待ちください。

家

私の住む地区に30軒の家があり、そのうち瓦屋根の家が12軒、さらにそのうちに2階造りの家が7軒あっていずれも屋根は切妻でした。残る家の屋根は草屋根と言って小麦の茅を乾燥した物を用いて屋根を葺いていました。草屋根は数年おきに葺き替えなければならないので、小麦の茅を保存する大事な仕事がありました。どこの家も屋根裏(「ツシ」と言った)に、茅や薪を保存してました。

かまどで火を焚くので、初期消火なども考えて夜寝る前に水瓶を満水しておくよう親は言いました。

かまど(「クド」と言った)について、昭和初期は和くど(煙突がなく土を焼いて焚口が2つあるもの)が多かった。昭和15年頃より西洋くど(煉瓦を長方形に積んで造り、中段にロストルを入れて焚口には開閉式の金属の扉を付け、下から空気を入れて煙突に出すもの)に移行しました。

.....

五条川の改修と桜の植樹の記憶

昭和27年に現在の大口町秋田から上小口に嫁入りした私は、年末に里帰りする際、義母が自転車の後ろに私を乗せて送ってくれました。五条川沿いの未舗装の道を転びそうになりながら走りましたが、堤防には桜の木が途切れることなく植えられていた記憶があります。

.....